

学習目標		
(1) 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。 (3) 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。 (4) 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。		
単元・題材名	学習内容	
4月	1. 整数と小数	・整数及び小数について、十進位取り記数法によって表されていることに着目し、十進数としての特徴を総合的に理解し、計算などに有効に用いる。
5月	2. 直方体や立方体の体積	・立体の体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算で求めたり、体積について量感を豊かにしたりする。
	3. 比例	・伴って変わる2つの数量の関係を表を用いて考察することを通して、比例について理解する。
6月	4. 小数のかけ算	・乗数が小数の場合の乗法の意味や計算の仕方について理解し、それを用いるとともに、小数の場合でも整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。
7月	5. 小数のわり算	・除数が小数の場合の除法の意味や計算の仕方について理解する。
	6. 合同な図形	・図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、合同な図形をかくことを通して、平面図形についての理解を深める。
9月	7. 偶数と奇数、倍数と約数	・偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深めるとともに、整数の見方や数についての感覚を豊かにする。
10月	8. 分数と小数、整数の関係	・分数の見方や表し方及び分数と小数、整数の関係について理解し、分数についての理解をする。
	9. 分数のたし算とひき算	・分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いるとともに数についての感覚を豊かにする。
11月	10. 単位量あたりの大きさ	・平均の意味を理解し、それを用いる。 ・異種の2量の割合としてとらえられる数量について、比べることの意味や比べ方、表し方を理解し、それを用いる。
	11. 図形の角	・三角形や四角形の内角の和について、図形の性質として見出し、それを用いて図形を調べたり構成したりする。
12月	12. 四角形と三角形の面積	・平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を作り出してそれらの面積を計算で求める。
1月	13. 百分率とグラフ	・資料における数量の比較や全体や部分の関係の考察などで割合を用いる場合があることや、その表し方についての百分率について理解するとともに、資料を円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりする。
2月	14. 正多角形と円周の長さ	・観察や構成を通して、正多角形の意味や性質についての理解をするとともに、円周率の意味や直径、円周、円周率の関係について理解し、それを用いる。
	15. 分数のかけ算とわり算	・分数×整数、分数÷整数の計算の意味や計算の仕方について理解し、それを用いる。
3月	16. 角柱と円柱	・観察や構成を通して、角柱、円柱の意味や性質について理解し、空間についての感覚を豊かにする。
評価の観点		
【関心・意欲・態度】 数理的な事象に関心をもつとともに、数量や図形の性質などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。		
【数学的な考え方】 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、総合的に考えたりするなど、数学的な考え方の基礎を身につけている。		
【数量や図形についての技能】 小数や分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形の性質を調べたり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身につけている。		
【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の性質、分数の意味、小数や分数の計算の意味、面積の公式、体積の単位と測定の意味、図形の意味や性質及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。		
評価の方法		
学習用具の準備、活動の様子、発言、ノート、プリント、テストなど		